

令和8年(2026年)5月26日(火曜日)

# 松毛川 護岸工事進む

## 三島・沼津動植物憩いの場創出



川底を歩き、工事の進捗を確認する渡辺専務理事(右端)ら  
 三島、沼津市境の松毛川

三島市と沼津市の境に位置する松毛川で、県による親水護岸整備工事が進んでいる。2028年までに3期に分けて約690㍍を整備する計画のうち、上流部約210㍍の第1期が6月に完了する。環境負荷を低減するミチゲーションを取り入れた工事で、川の水をせき止めていた土のうを取り外し、動植物の回復を調査しながら進める。

松毛川は昭和初期の堤防工事で狩野川から分離した三日月湖。樹齢100年超

の樹木が130本あり、多数の鳥類が生息するなど豊かな生態系を築き、農業用水としても利用される。しかし、倒木やごみの投棄などで環境が悪化していたことから三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島が2007年から再生活動を続けてきた。

工事は川の生き物や植物を移動させて水を抜き、樹木に配慮した固化材を使って堤防などを整備した。環境負荷低減の指導はGW三島が担う。第2期は10月以降の予定。GW三島の渡辺豊博専務理事は「カワセミやオオタカの生息地に入る。細心の注意を払っていきたい」と話した。  
 (三島支局・白本俊樹)